



読書週間がやって来ました。今年も特別企画として篠崎図書館の全スタッフが本をご紹介します。今回のテーマは「篠崎アワード」。スタッフがおすすめ本に独自の賞をつけました。それぞれの篠崎アワードをお楽しみ下さい。

**せつないで賞**

**『オスは生きてるムダなのか』**  
池田 清彦著  
KADOKAWA  
467イ  
篠崎ほか所蔵

本のタイトルをただでこの賞の進呈を決定致しました。この世にオスとメスがある理由。性があることによるメリットとデメリット。なんてことや、原則的に性のない生物も存在するなど、不思議が満載。そしてタイトルの答えやいかに……。

**おしりに火がつくで賞**

**『トウガラシの歴史』**  
ヘザー・アーク・アンダーソン著  
原書房  
619ア  
篠崎ほか所蔵

アメリカ大陸からヨーロッパに渡り、全世界へと広がった唐辛子。地域によっては、生活に欠かす事ができないものとして親しまれてきました。日本で有名な虫刺され薬の成分には「トウガラシチンキ」なるものがあり、これが良く効くと勝手に思っていたりします。

**贈る言葉のビタミンCで賞**

**『奈々子に』**  
吉野 弘著  
岩崎書店  
911.5ヨ  
篠崎ほか所蔵

「祝婚歌」や「夕焼け」などで有名な吉野弘さんの詩集です。読んでいただけで情景が浮かび、独特の視点から作られる詩の数々にうなずいたり笑ったりすること間違いなしです。この詩集を自分の言葉の引き出しに入れてみてはいかがでしょう。

**新鮮な感動を覚えるで賞**

**『思いわずらうことなく愉しく生きよ』**  
江國 香織著  
光文社  
Fエ  
篠崎ほか所蔵

「人はみないずれ死ぬのだから、そして、それがいつなのかはわからないのだから思いわずらうことなく愉しく生きよ」。三姉妹のいた犬山家の家訓です。三者三様の恋愛観はすこぶる突飛です。それでもどこか共感できる。思わず引きこまれる爽快で魅力的な作品です。

**大人にも読んでほしいで賞**

**『14歳からの哲学』**  
池田 晶子著  
トランスビュー  
J100イ  
篠崎ほか所蔵

14歳からと書かれているが、ボーっと生きてきてしまった大人たちにこそ読んでほしい哲学入門書。哲学入門と言っても哲学者たちの話が出てくるわけではない。身の周りの考えなければならぬことについて、考えるきっかけとヒントを与えてくれる本である。

**時代の匂いまで感じるで賞**

**『ゲバルト時代』**  
中野 正夫著  
筑摩書房  
B377ナ  
篠崎所蔵

1967年から6年間を新左翼の“末端”活動家として過ごした著者の克明な私的記録である。思想ではなく当時の若者の人間関係や日常生活について詳しく語っている。巻末解説・鴻上尚史氏の「こんな本を待っていました」と同様の感想を私も抱いた。

**猪突猛進で賞**

**『人間をお休みしてヤギになってみた結果』**  
トーマス・トウエイツ著  
村井 理子訳  
新潮文庫  
B489ト  
篠崎ほか所蔵

仕事や将来への不安に悩むトーマスはある日思いついた。「そうだ、人間やめて動物になろう」。本格的にヤギになることにした彼は、脳の働きを動物に近づけたり四足歩行を極めたりするため、研究者を訪れる。果たして彼はヤギになれたのか？ ワクワ楽しいドキュメント。

**生き様に涙が止まらなくなるで賞**

**『聖の青春』**  
大崎 善生著  
講談社  
B796オ  
篠崎ほか所蔵

“怪童”と呼ばれ、羽生善治らの好敵手として活躍した棋士・村山聖の29年間の生涯。難病と闘いながら、家族の絆、友情、師弟愛に支えられて、名人への夢一筋に生き抜いた。有り余る情熱と、純粋さの塊のような生き様に心を揺さぶられ、涙が止まらなくなる。

**原作を読みたくなるで賞**

**『クマのプーさんの世界』**  
ブライアン・シブリー著  
岩波書店  
933シ  
篠崎ほか所蔵

『クマのプーさん』は哲学的で、子ども向けの可愛いだけの物語ではないように感じる。この本を手にした後、原作を読みたくなり全集を買った。心地よい物語と命の吹き込まれた挿絵は浮世を忘れさせ、心が浄化されるようだ。優しい時間に包み込まれる。

**失格？合格？ 様だけ知るで賞**

**『直筆で読む「人間失格」』**  
太宰 治著  
集英社  
Fタ  
篠崎ほか所蔵

「人間失格」直筆原稿をカラー写真で全編収録。きちんとした字、丁寧に網掛けされた訂正箇所などから真面目な性格や執筆の苦悩が伝わります。本書の解説曰く“人間失格者になれなかった”まま世を去った太宰治の人間らしさが垣間見えるような、内容からはやっぱり失格ではと思えるような……。

**やる気、元気がでるで賞**

**『コチャレ！』**  
上大岡 トメ著  
講談社  
159カ  
篠崎ほか所蔵

何もやる気の起きない日。パッと開いたページから、すぐにできる対処法が見つかります。英訳付きで英語の勉強もでき、その上癒されるイラストも。悩みの数と同じ108の小さなチャレンジ=コチャレでやる気、元気になりましょう。

**奇想天外で賞**

**『誰も知らない世界のことわざ』**  
エラ・フランシス・サンダース著  
創元社  
388.8サ  
篠崎ほか所蔵

「ロバにスポンジケーキ」「あなたのレバーをいただきます」など、世界のことわざは文化によって様々です。理解を超えるような言い方であってもその背景を知るとなるほどと思います。著者は独創的な絵と共に、そんな不思議で素晴らしい表現の世界へと誘ってくれます。

**やっぱり、お肉で賞**

**『肉の本』**  
行正 り香著  
扶桑社  
596.3ユ  
篠崎ほか所蔵

肉が食べたい、どうしても肉、肉しか考えられない！ そんな時が定期的にあります。食べ物に感謝し、お肉と真剣に向き合い手塩にかけて作られた肉料理の本です。作ってみるもよし、眺めるもよし、この魅力的な本に「やっぱり、お肉で賞」を贈ります。

**スカッとしたで賞**

**『割符帳』**  
（『百年文庫93 転』所収）  
アラルコン著  
ポプラ社  
908ヒ93  
篠崎ほか所蔵

愛情こめて育てたカボチャを盗まれたお爺さん。市場で売られていたカボチャを自分の畑のものだと主張して泣き出すが、警官から証拠が必要だと言われ……。お爺さんが気の毒で沈んでいた気持ち、ある切り札の登場で一変。まさに胸がすく思いに変わりました。

**お父さんも頑張ったで賞**

**『燕雀の夢』**  
天野 純希著  
KADOKAWA  
Fア  
篠崎ほか所蔵

織田信長、上杉謙信等、戦国時代に覇を競った英雄達。本作はその英雄の父にスポットを当てた歴史小説。群雄割拠の戦国時代初期を駆け抜けた父親達。彼らがいたから、息子たちが勇躍できたといっても過言ではありません。父親達の熱い生き様をご堪能下さい。

**妄想力がハンパないで賞**

**『太陽の塔』**  
森見 登美彦著  
新潮社  
Fモ  
篠崎ほか所蔵

「彼らは根本的に間違っている。なぜなら自分が間違っているはずがないからだ」と冒頭から宣言する大学生の「私」。失恋で傷ついた自尊心を守るため、万事においてひねくれた主張をする様はどこか憎めない。呆れるほどの妄想力に思わずにやりとしてしまう小説です。